

「平成19年度 エンジニアリング功労者賞」表彰式について

記者各位

当社(社長:西尾進路)グループの石油精製会社である新日本石油精製株式会社(社長:大野 博)が、千代田化工建設株式会社(社長:久保田 隆)他2社との共同プロジェクトとして取り組んだ「副生炭酸ガス冷熱分離回収統合利用技術開発」が、このたび、「平成19年度 エンジニアリング功労者賞」を受賞し、その表彰式が、昨日7月12日(木)に下記のとおり開催されましたのでお知らせいたします。

「エンジニアリング功労者賞」は、エンジニアリング産業に関与し、その活動を通じてエンジニアリング産業の発展に著しく貢献したグループおよび個人を財団法人エンジニアリング振興協会※が表彰 するもので、今回で27回目となります。

今回、受賞の対象となったプロジェクトは、石油精製工場の水素製造装置で副生される水素・炭酸の混合ガスを、LNG冷熱利用により高純度水素と液化炭酸ガスに分離し、分離した液化炭酸ガスを石油化学工場において塩化ビニルモノマーなどの原料として使用するもので、LNG冷熱および余剰炭酸 ガスの有効利用による省エネルギー、環境貢献度が高く評価されました。

また、本プロジェクトは、経済産業省の支援を受けた石油コンビナート高度統合運営技術研究組合 (RING)が実施する事業の一環であり、コンビナート内の全体最適化を実現させる技術開発です。

表彰式では、増田信行エンジニアリング振興協会会長から、プロジェクトチームに対して表彰状が授与されました。

当社グループは、経営理念として「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げ、今後も、地球環境保全に寄与する技術開発に挑戦し続けることで、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指して参ります。

記

<表彰式の概要> 1. 受賞対象:「副生炭酸ガス冷熱分離回収統合利用技術開発」 2. 日時:7月12日(木) 17:00~17:40 3. 場所:東海大学交友会館(霞ヶ関ビル33階)「朝日・東海の間」 4. 当社グループ受賞者:新日本石油精製 技術部 技術企画グループ 小林宏二、他4名

以上

※エンジニアリング産業振興を目的に1978年に発足した公益法人で、エンジニアリングに関わる調査研究・人材育成事業等、幅広い事業を行っている。会員企業数は177社(2007年7月1日現在)



プロジェクトチームを代表して表彰状を授与される小林社員